

**アクションプラン**  
**第1期計画1年目報告書**  
**(令和元年度)**  
**釧網線**

---

**令和2年8月**

**釧網線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画1年目の取組状況について、釧網線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **検証結果を踏まえた上で、主要施策やKPI指標について必要な見直しを行い、より効果的な対応を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### (1) 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲1,613百万円となり基準とした平成29年度より116百万円悪化した。

営業収益は「くしろ湿原ノロッコ号」のご利用増加等により収入が対前年16百万円増加した304百万円（対前年106%）となった。

営業費用は「線路集中メンテナンス日」を設定し、マクラギ木交換等実施したこと等により181百万円増加した1,917百万円（対前年110%）となった。営業損失は対前年165百万円拡大した

- ・輸送密度は372人/日となり基準とした平成29年度より2人/日減少した。

#### ▼令和元年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (目標)	令和元年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲1,497百万円	▲1,497百万円	▲1,613百万円	▲116百万円	未達成
輸送密度	374人/日	374人/日	372人/日	▲2人/日	ほぼ達成

### 3. 具体的取組の検証

#### (1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が9%、達成見込「○」が72%、一部達成「△」が13%、見込無「×」5%、未評価「－」が2%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

##### ▼令和元年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	6	9%	「マイレール運動の提唱」、「乗車運賃助成」取組は2019年度中に目標達成。
○	46	72%	「くしろ湿原ノロッコ利用増」、「SL釧路湿原号利用増」「外部事業者との連携」、「小学生による駅舎ペインティング」は達成見込。
△	8	13%	「流水物語号の利用増、運行に対するご協力」、「スマホ定期券の活用」、「あるべき交通体系の検討」が一部達成。
×	3	5%	「業務委託のご相談/乗車券の発売」、「中長期的な経費削減施策の検討」が見込無。
－	1	2%	「地域の皆様とダイヤ検討」が未評価。
合計	64	100%	

## 4. 令和元年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況	目標達成
<p>(1)くしろ湿原ノロッコ号の利用増、運行に対するご協力</p>	<p>夏の繁忙期に標茶高校生がボランティアガイドを行うなど各種おもてなしのほか、釧路町がふるさと納税返礼品にノロッコ号のきっぷを採用するなど、地域の皆様と一体となった取組みが効果を生み、令和元年度利用人員は86,000人(対前年112%)となった。</p>	○
	<p>くしろ湿原ノロッコ号30周年イベントの締めくくりとして、10月14日(今年度の運行最終日)塘路駅で、標茶町長とご当地キャラクターが、お出迎え・お見送り・ノベルティ配布を行い、ノロッコ号の利用による再訪をPRした。</p>	





(令和元年7月30日撮影・くしろ湿原ノロッコ2号車内)





(令和元年10月14日撮影・塘路駅)

## 4. 令和元年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(2) SL冬の湿原号利用増、運行に対するご協力</p>	<p>地元吹奏楽団によるお出迎え演奏会の実施や地元特産品を販売するイベント、標茶町内の飲食店や温泉施設を巡る無料送迎の実施等地域の皆様と一体となった取組みによって令和元年度利用人員は9,500人(対前年102.1%)となった。</p>	 <p>(令和2年1月25日撮影・標茶駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(3) 流水物語号の利用増、運行に対するご協力</p>	<p>観光ボランティアによる沿線案内や乗車されたお客様へ特製ステッカーの配布、車内販売の実施やお見送り、お出迎えイベントの実施等地域の皆様が主体となって利用促進の取組等を行った。令和元年度利用人員はインバウンド客の減少等の影響により7,500人(対前年75.3%)となった。</p>	 <p>(令和2年2月1日撮影・網走駅)</p> <p style="text-align: center;">△</p>

## 4. 令和元年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(4) 観光鉄道としての利用促進の取組</p>	<p>観光鉄道としての利用促進のため、WILLER(株)、関係自治体、地域の事業者、当社が協力して「ひがし北海道ネイチャーパス」を発売し、釧網線から沿線観光資源にシームレスにつなぐ「観光型MaaS」に取り組んだ。</p>	 <p>(令和元年8月19日撮影・摩周駅)</p>	○
<p>(5) 「オホーツクSEA TO SUMMIT」の開催において釧網線を活用したコース設定により、釧網線のPRと利用促進を図る。</p>	<p>今年度オホーツクエリアで初開催された「SEA TO SUMMIT」は、地域の皆様と連携し、大会コースに釧網線が組み込まれた。6月23日は専用臨時列車を運転し、大会参加者と関係者約130名が利用した。また、列車内において観光ボランティアによる見どころを紹介する等釧網線のPRを行った。</p>	 <p>(令和元年6月23日撮影・浜小清水駅)</p>	○

## 4. 令和元年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(6)小学生による駅舎ペインティング</p>	<p>自治体、学校関係者、地元の皆様等に協力頂き、令和元年9月30日、美留和小学校の児童7名が美留和駅舎のペインティングを行った。また、実施前に釧網線の現状や見どころを知ってもらうためのJR出前教室を開催した。</p>	 <p>(令和元年9月30日撮影・美留和駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(7)中長期的に鉄道設備を維持するため、集中工事を実施する仕組み作りを関係自治体と協議し、行う</p>	<p>令和元年10月21日～11月1日、緑駅～知床斜里駅間で、一部列車を運休して線路集中メンテナンスを行い、約4,000本の木製マクラギを交換した。実施にあたって自治体広報誌を活用し、住民向けに工事実施等周知を行った。</p>	 <p>(令和元年10月21日撮影・札弦駅～清里町駅間)</p> <p style="text-align: center;">○</p>



## 5. 令和元年度取組の検証

- ・ JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランに取り組み、効果をあげることができた。
- ・ 釧網線のアクションプラン実行委員会にはWILLERも参画しており、WILLERと連携した取り組みが功を奏した。
- ・ 観光列車の取組やキャンペーンの展開などに関係者一体となって取り組み、観光線区としての線区特性を発揮した。
- ・ 線路の持続性を維持するため「線路集中メンテナンス日」を設定し、集中工事を行い、安全性向上を図った。
- ・ 線区別収支は基準とした平成29年度の目標値を▲116百万円下回り、未達成の状況にある。輸送密度は、基準とした目標をほぼ達成する状況にある。
- ・ 令和2年度も観光線区の強みを生かした取り組みを進めるとともに、第2期集中改革期間に向けて線区特性を活かした施策の検討を進めたい。

別紙

I. 利用促進

1 共通

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 利用実態調査	統計値では把握しがたいお客様の層等を把握するため実態調査の新設	JR北海道 全自治体	○										
(2) 輸送サービスの向上	限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施	JR北海道 全自治体	—										
(3) マイレール意識の醸成	①JR北海道問題に対する関心を高める取組												
	ア. 広報誌やホームページ等を活用し鉄道特集記事を掲載	全自治体 その他	○										
	イ. マイレール運動の提唱	自治体	◎										
	ウ. シンポジウム、意見交換会等の実施	全自治体 その他	△										
	エ. フォトコンテスト等の実施	全自治体	◎										
	②「COOL CHOICE」の取組みやノーマイカーデー等実施による鉄道利用促進	自治体	○										
	③リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について 利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	○										
④出前教室等の実施 教育現場にJR社員が赴く出前勉強会や駅の課外授業受け入れ等で線区に関するPRを行う	JR北海道 全自治体	○											

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
	⑤小学生による駅舎ペインティング	自治体	○										
	⑥生活科見学の一環としてJR体験乗車の実施	自治体	○										
(4) 他の交通機関等との連携	バス、タクシー等との相互連携の推進												
	ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善	全自治体 JR北海道 その他	○										
(5) 拠点としての駅の活用	①地域の皆様のご協力による観光案内所・売店・飲食店等の設置	自治体 JR北海道	○										
	②駅舎の整備												
	ア. 待合室、ホーム屋根、トイレ等の駅設備の新設 改修	自治体 JR北海道	○										
	イ. Wi-Fi環境の整備・管理	自治体 JR北海道	○										
	③駅前の整備												
	駅前広場の整備	自治体	○										
	④駅の活用												
	ア. 特色ある駅舎の整備	JR北海道 自治体	○										
イ. 駅の空スペースを事務所・会議室等として開放し、鉄道利用を促す取組	自治体	◎											
⑤駅を中心としたにぎわい創出													
	駅周辺に店舗・公共施設等の設置の拡大	自治体 その他	○										
(6) 当社の行き届かない取組 に対するご協力	駅的环境美化の取り組み	自治体	○										
(7) 全道利用促進取組との連携	北海道鉄道活性化協議会との連携	全自治体 JR北海道	○										

2 生活利用

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) お客様サービスの向上	①「スマホ定期券」の活用	JR北海道	△										
	②サービスレベルの向上 ・大規模輸送障害発生時等の運休等の情報内容の充実	JR北海道	○										
(2) 公共交通の利用促進	①マイレール意識の醸成に向け鉄道利用をよびかけるとともに乗車運賃等への助成	自治体	◎										
	②学生の通学定期券購入に対する助成制度の検討	自治体	○										

3 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 国内外から釧網線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施												
	ア. 夏・冬の道東キャンペーンの実施、利用増	JR北海道	○										
	イ. 観光型旅行商品の造成「道東周遊紀行」の継続、増売	JR北海道	○										
	ウ. LCCと釧網本線をセットした商品の継続・増売	JR北海道 その他	○										
	エ. 鉄道を利用する観光客への助成	自治体 JR北海道	○										
	オ. 駅を発着し観光地・観光施設を巡るバスの運行	自治体 その他	○										
	②観光列車の運行												
	ア. くしろ湿原ノロッコ号の利用増、運行に対するご協力	JR北海道 自治体 その他	○										
	イ. SL冬の湿原号の利用増、運行に対するご協力、SL協議会開催	JR北海道 自治体 その他	○										

取組内容		事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
	ウ. 流水物語号の利用増、運行に対するご協力	JR北海道 自治体 その他	△										
	③閑散期の需要創出 「フリーパス」等を活用した釧網線利用促進の取組	JR北海道	○										
	④宣伝協力 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力	JR北海道 全自治体	○										
	⑤その他 ア. スマホを使った観光案内・外国語対応の実施	JR北海道	○										
	(2) 外部事業者との連携	観光鉄道としての利用促進の取組	全自治体 WILLER JR北海道 その他	○									
(3) 地域の皆様と連携した取組の推進	①観光資源の積極的な活用	自治体 JR北海道 その他	○										
	②観光列車等利用促進や、駅装飾等にぎわいの創出に 取り組む市民団体等に対する助成	自治体 その他	△										
	③沿線でのイベント・施設などに関する情報共有や利用の 働きかけ	全自治体 その他	○										
	④ヘルシーウォーキングやエコツーリズム推進に伴う ロングトレイル構想による利用促進	JR北海道 自治体	○										
	⑤釧網線とアクティビティをセットしたサービスの展開 温泉・カヌー体験等	JR北海道 その他	○										
	⑥鉄道を利用した長期滞在者との交流事業	自治体	◎										
	⑦「オホーツクSEA TO SUMMIT」の開催において、釧網 線を活用したコース設定により、釧網線のPRと利用促 進を図る	自治体 その他 JR北海道	○										

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
	⑧ ふるさと納税返礼品等	自治体	○										
	⑨ ふるさと納税者特別企画の実施	自治体	○										
	⑩ 仮想道の駅フェスティバルの実施	自治体	◎										
	⑪ スタンプラリー&鉄道まつり	自治体 その他	◎										

4 広域交通

取組内容		事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 出張等での鉄道利用	官公庁、域内事業者等による、出張等での鉄道利用の促進	全自治体 その他	○										



II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
			H29		H30		R1		R2			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談	①業務委託のご相談											
	ア. 乗車券の発売	自治体	×									
	イ. 観光案内や通訳業務 等	その他	○									
	②業務のお手伝いのお願い											
	ア. 無人駅の施設管理	自治体	○									
イ. 除雪係員確保のお願い 等	自治体	○										
ウ. 駅前除雪	自治体	○										
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止について各自治体との協議	自治体 JR北海道	◎									
	②極端にご利用の少ない踏切の見直しについて各自治体との協議	自治体 JR北海道	△									

Ⅲ. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容		事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道	△										
	②2次交通との連携に向けた検討 ア 鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作り に向けた検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	×										
	イ 地域公共交通網形成計画の策定 鉄道、バスなどの連携による地域に 最適な公共交通 の検討	自治体 JR北海道 その他	○										
(2) 中長期的な利用促進施策につい ての検討	中長期的視野に立った利用促進施策の検討	全自治体 JR北海道 その他	×										
(3) 中長期的な経費節減策につい ての検討	中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性につい ての検討	全自治体 JR北海道 その他	×										
(4) 中長期的な街づくりについ ての検討	駅を中心とした都心部まちづくりの検討	自治体 JR北海道 その他	○										
(5) その他地域の皆様と一体とな った取り組み	相互連携の検討	全自治体 JR北海道 その他	△										
(6) 中長期的に鉄道設備を維持 するための取組の検討	中長期的に鉄道設備を維持するため、集中工事等 を実施する仕組み作りを関係自治体と協議し行う	全自治体 JR北海道 その他	○										

**アクションプラン**  
**第1期計画1年目報告書**  
**(令和元年度)**  
**花咲線**

---

**令和2年8月**

**花咲線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画1年目の取組状況について、花咲線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **検証結果を踏まえた上で、主要施策やKPI指標について必要な見直しを行い、より効果的な対応を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### (1) 基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲1,108百万円となり、基準とした平成29年度より2百万円改善した。

営業収益は花咲線利用可能性調査事業の実施等により収入が対前年6百万円増加した170百万円（対前年137%）となった。営業費用は、初田牛駅廃止や車両の減価償却費が減少したこと等により対前年1百万円減少した1,227百万円（対前年100%）となった。営業損失は対前年7百万円改善した▲1,108百万円となった。

- ・輸送密度は、238人/日となり、基準とした平成29年度より26人/日減少した。

#### ▼令和元年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (目標)	令和元年度 (実績)	対目標	目標 達成
線区別収支	▲1,110百万円	▲1,110百万円	▲1,108百万円	2百万円	達成
輸送密度	264人/日	264人/日	238人/日	▲26人/日	未達成

### 3. 具体的取組の検証

#### (1) 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が2%、達成見込「○」が70%、一部達成「△」が15%、見込無「×」11%、未評価「-」が2%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

##### ▼令和元年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	1	2%	「待合室の駅設備の改修」は目標達成。
○	37	70%	「花咲線利用促進PR事業」、「地域公共交通網形成計画の実施」は達成見込。
△	8	15%	「沿線自治体や観光協会等と連携したイベント等の企画・実施・協力」が一部達成。
×	6	11%	「出前教室等の実施」「中長期的な利用促進施策の検討」、「中長期的な経費削減施策についての検討」が見込無。
-	1	2%	「地域の皆様とダイヤ意見交換の実施」が未評価。
合計	53	100%	

## 4. 令和元年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1) 花咲線利用可能性調査の実施</p>	<p>7月13日より「地球探索鉄道花咲線」夏の取組を行った。9月16日までの土日祝日1往復の列車を1両増結し、夏期繁忙期の花咲線利用促進を図るとともに、花咲線利用可能性調査を行うため増結列車内においてアンケート調査を実施した。また、根室駅からエリア観光地を巡るねむろ半島遊覧バスのさっぷ号乗り換え案内看板を設置し、JRとバスとの連携に取り組んだ。</p>	<p>○</p>





(令和元年7月13日撮影・根室駅)




(令和元年7月13日撮影・釧路駅)

## 4. 令和元年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(2)地域の皆様と連携した取組の推進のため観光資源の積極的な活用のため「ヘルシーウォーキング」の実施</p>	<p>5月18日開催「あつけし桜・牡蠣まつり」にあわせ、厚岸駅・まつり会場・観光名所等をめぐる「JRヘルシーウォーキング」を開催した。JRをご利用の約60名がウォーキングに参加した。</p>	 <p>(令和元年5月18日撮影・厚岸駅)</p>	<p>△</p>
<p>(3)花咲線利用促進PR事業として全国高校生地方鉄道大会の誘致</p>	<p>8月1日から3日間、「第8回全国高校生地方鉄道交流会」を根室市にて開催した。企画部門では、高校生の目線で花咲線の課題等を調査・研究し、花咲線の認知度向上と利用促進のための具体策の提言・発表を行い、全国に花咲線利用促進をPRした。</p>	 <p>(令和元年8月3日撮影・根室市)</p>	<p>○</p>



## 4. 令和元年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(4) 花咲線利用促進PR事業として根室駅等での記念撮影スポットを増やすことにより花咲線をPRする取組。</p>	<p>10月16日、根室駅の新たな記念撮影スポットとして道内初の「黄色いポスト」が設置された。この取組は、花咲線の維持確保を図るため、地域の団体の方々が主体となって設置した。</p>	 <p>(令和元年10月16日撮影・根室駅)</p>	○
<p>(5) 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力</p>	<p>12月18日、札幌駅で花咲線沿線観光PRを釧路町、厚岸町、浜中町が各町のご当地キャラクターとともに沿線ガイドや観光パンフレットを配布し、行った。</p>	 <p>(令和元年12月18日撮影・札幌駅)</p>	○

## 5. 令和元年度取組の検証

- ・ J R北海道とアクションプラン実行委員会が一体となって取組計画が推進された。
- ・ 花咲線利用促進 P R事業の推進や道内外から花咲線にお越しいただくための取組など観光利用促進の取組を推進したため、線区別収支は基準とした平成29年度数値目標を達成している状況にある。
- ・ 厚岸町、浜中町が地域公共交通網形成計画を策定し、駅を交通拠点とした利用しやすい交通ネットワーク構築を進めた。
- ・ 令和2年度も観光利用を促進する取組を予定しており、効果が期待できる。
- ・ 第2期集中改革期間に向けて、観光線区としての取組をさらに推進し、J R北海道、沿線自治体が一体となって花咲線を磨いていきたい。

別紙

I. 利用促進

1 共通

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を掌握するため実態調査の新設	JR北海道 全自治体	○										
	②花咲線利用可能性調査の実施	自治体 JR北海道	○										
(2) 輸送サービスの向上	限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施	全自治体 JR北海道	—										
(3) マイレール意識の醸成	①JR北海道問題に対する関心を高める取組 ア. 広報誌やホームページ等を活用し鉄道特集記事を掲載	全自治体 その他	○										
	②リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解頂く資料の作成	JR北海道	○										
	③出前教室等の実施 教育現場にJR社員が赴く出前勉強会や駅の課外授業受け入れ等で線区に関するPRを行う	JR北海道 全自治体	×										
	④生活科見学の一環としてJR体験乗車及び駅業務見学の実施	自治体 JR北海道	○										
	⑤「COOL CHOICE」の取組みやノーマイカーデー等実施による鉄道利用促進	自治体	○										
(4) 他の交通機関等との連携	①バス、タクシー等との相互連携の推進 ア. ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善	全自治体 JR北海道 その他	○										
	イ. 鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた協議を実施	全自治体 JR北海道 その他	○										

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
②地域公共交通網形成計画の実施		自治体 JR北海道	○										
				ア. 駅を町内の交通拠点(交通結節点)として利用しやすい町内公共交通ネットワークを構築する。									
(5) 拠点としての駅の活用		自治体	○										
				②観光案内所・売店の設置									
③駅舎の整備		JR北海道	◎										
				ア. 待合室の駅設備の改修									
(6) 全道利用促進取組との連携		全自治体 JR北海道	○										
				イ. Wi-Fi環境の整備									
(7) 当社の行き届かない取組に対するご協力		自治体	○										

2 生活利用

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) お客様サービスの向上	サービスレベルの向上 ・大規模輸送障害発生時等の運休等情報内容の充実	JR北海道	○										
(2) 公共交通の利用促進	①乗車運賃等への助成制度導入												
	ア. 市民団体等と連携したイベント等の企画・実施・協力並びに活動団体に対する助成制度の創設	自治体	△										
	イ. 幼稚園、学校行事等に対する補助	自治体	△										
	ウ. 高齢者等の移動に対する運賃補助	自治体	○										
	②シンポジウム、意見交換会の実施												
	ア. 行事等で鉄道利用を促進・要請	自治体	○										
イ. 行事等での鉄道利用を実施する団体数増	自治体	○											

3 観光利用

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 花咲線利用促進PR事業	花咲線利用促進PR事業への取組 「地球探索鉄道」花咲線の魅力向上や情報発信による 認知度向上	自治体 JR北海道	○										
(2) 普通列車を観光列車にする 取組	普通列車を観光列車にする取組	自治体 JR北海道	△										
(3) 道内外から花咲線にお越 しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施												
	ア. ひがし・きた北海道キャンペーン等の継続 関連商品の増売	JR北海道 その他	○										
	イ. ご当地きっぷデザイン協力・販売協力	自治体 その他	○										
	ウ. 花咲線を意識したツアーの企画・実施	自治体 JR北海道 その他	○										
	エ. 花咲線と飲食店が連携した企画・販売	自治体 JR北海道 その他	○										
	オ. 首都圏での宣伝展開	自治体	○										
	カ. 旅行企画造成依頼	自治体	○										
	②閑散期の需要創出												
「フリーパス」等を活用した花咲線利用促進の取組	JR北海道	△											
③宣伝協力													
駅等での宣伝協力	自治体	○											

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(4) 地域の皆様と連携した取組の推進	①観光資源の積極的な活用												
	ア.パンフレットやHPの作成連携	自治体	○										
	イ.沿線自治体や観光協会等と連携したイベント等の企画・実施・協力	JR北海道 全自治体 その他	△										
	ウ.特産品・グッズ等の企画・販売	JR北海道 その他	○										
	エ.観光協会事業で花咲線列車を利用した事業の実施	自治体 JR北海道	○										
	オ.観光イベント開催時において列車発着にあわせた無料シャトルバスの運行	自治体 JR北海道	○										
	②SNSでのJR企画等の情報発信	自治体 JR北海道	○										
	③ご利用客へすずらん贈りもの	その他 JR北海道	○										

4 広域交通

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 出張時の鉄道利用	官公庁・域内事業所等において、札幌などまでの出張時に、花咲線利用に取り組む	全自治体 JR北海道	○										



II. 経費節減

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 設備の見直しやスリム化によるコスト削減	当社の行き届かない取組に対するご協力												
	ア. 駅前広場の除雪	自治体	○										
	イ. 駅舎内トイレ清掃	自治体	○										
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止についての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	△										
	②極端にご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	△										

Ⅲ. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容		事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	△										
	②2次交通と連携に向けた検討 鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み 作りに向けた検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	×										
(2) 中長期的な利用促進策について の検討	中長期的視野に立った利用促進策の検討	全自治体 JR北海道	×										
(3) 中長期的な経費節減策について の検討	中長期的視野に立った設備スリム化の可能性に ついて検討	全自治体 JR北海道	×										
(4) 中長期的な駅の活用策について の検討	中長期的視野に立った駅の活用策の検討	自治体 JR北海道	×										
(5) 中長期的な街づくりにつて の検討	駅を中心とした都心部まちづくりの検討	自治体 JR北海道 その他	○										
(6) その他地域の皆様と一体と なった取組	相互連携の検討	全自治体 JR北海道	×										

**アクションプラン**  
**第1期計画1年目報告書**  
**(令和元年度)**  
**石北線**

---

**令和2年8月**

**石北線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画1年目の取組状況について、石北線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **1年目の検証結果を踏まえた上で、2年目の主要施策やKPI指標について必要な見直しを行い、より効果的な対応を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### ○ 基本指標の概況

- ・ 線区別収支は、▲4,441百万円となり基準とした平成29年度より197百万円悪化した。  
営業収益は対前年68百万円減少した1,136百万円（前年比94%）となった。  
営業費用は対前年48百万円減少した5,577百万円（前年比99%）となった。営業損失は対前年20百万円拡大した。
- ・ 輸送密度は775人/日となり基準とした平成29年度より116人/日減少した。

#### ▼令和元年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (目標)	令和元年度 (実績)	目標 達成	備考
線区別収支	▲4,243百万円	▲4,243百万円	▲4,441百万円	未達成	
輸送密度	891人/日	891人/日	775人/日	未達成	

### 3. 具体的取組の検証

#### ○ 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組にあたっては、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら進め、進捗状況は目標達成「◎」が10%、達成見込「○」が88%、一部達成「△」が2%、見込無「×」が0%、未評価「－」が0%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。



#### ▼令和元年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	6	10%	「新聞広告を活用した鉄道利用PR」や「地域住民と連携した開駅周年イベントの実施」等の項目において令和元年度中に目標達成。
○	56	88%	地域の皆さまと一体となった取組みにより項目の9割が1年目の目標達成。
△	1	2%	計画していた「フォトコンテスト」は類似した取組があり次年度に取組む。
×	0	0%	
－	0	0%	
合計	63	100%	

# 4. 令和元年度象徴的な取組について①



取組内容	取組状況	目標達成
<p>(1) JR乗車運賃等への助成</p>	<p>グループ旅行や幼稚園等の遠足または部活動等での列車利用に対する助成制度を設けました。                  (北見市、網走市、遠軽町、大空町、旭川市)                  また、列車通学生への定期券助成制度を設けました。                  (愛別町、上川町)</p> <div data-bbox="1406 416 1816 727" data-label="Image"> </div> <p>(広報あばしり 令和元年5月号)</p>	<p>○</p>
<p>(2) 鉄道利用旅行者への助成</p>	<p>鉄道利用旅行者に対する助成商品を作成しました。                  (北見市、網走市)                  鉄道利用旅行者に対する助成制度を設けました。                  (遠軽町)</p> <div data-bbox="1417 799 1816 1310" data-label="Image"> </div> <p>(北見市、網走市助成パックの告知 / ホームページでの掲載例)</p>	<p>○</p>

## 4. 令和元年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況		目標達成
(3) 特急列車内の特産品販売	<p>沿線地域の特産品をお客様に楽しんでいただくため、北見市、網走市、遠軽町、大空町、美幌町及びオホーツク総合振興局の皆様が特急列車車内で特産品販売を実施しました。令和元年6月1日(土)から令和2年2月24日(月・休)までの土日祝休日で、計78回実施しました。</p>	 <p>(令和元年6月撮影)</p>	○
(4) 地域住民と連携した開駅周年イベントの実施	<p>8月12日(月・休)、白滝駅の開駅90周年の記念イベントを開催し、記念ポストカードの配布やパネル展示を行いました。これに先立ち、6月に白滝小学校の児童の皆様や地域の皆様が駅舎の内装を塗り直しました。</p>	 <p>(令和元年8月撮影・白滝駅)</p>	◎



## 4. 令和元年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況	目標達成
<p>(5) 地元住民との懇親会・シンポジウム・意見交換会等の実施</p>	<p>6月26日(水)、遠軽町で鉄道維持に関するフォーラム「みんなで守ろう!石北本線」が開催され、町内外から約150名が参加しました。石北線の維持に向けてすべきこと、観光面での利用促進などが討議されました。</p>	 <p>(令和元年6月26日撮影・遠軽町)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(6) ご当地キャラクターによる公共交通利用の呼びかけ</p>	<p>10月14日(月)、旭川駅で石北線利用促進PR活動を行いました。石北線をご利用いただくため旭川市、当麻町、愛別町、上川町のご当地キャラクターが、石北線沿線マップなどを配布しながら石北線の利用を呼びかけました。</p>	 <p>(令和元年10月14日撮影・旭川駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>

# 4. 令和元年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況	目標達成
<p>(7) 広報誌等を活用した 鉄道利用の呼びかけ</p>	<p>各自治体において毎月発行している広報誌に「鉄道(公共交通)利用促進」あるいは「鉄道に関連する地域の取組等」の記事を掲載しました。 平成31年4月～令和2年3月までの期間、石北線沿線自治体9市町において延べ26回掲載しました。</p> <div data-bbox="1249 432 1861 874" data-label="Image"> </div> <p>(広報あばしり平成31年4月号別冊)</p> <div data-bbox="1361 914 1742 1315" data-label="Image"> </div> <p>(広報きたみ令和2年1月号)</p>	<p>○</p>

## 5. 令和元年度取組の検証

- ・ JR北海道と沿線自治体等が一体となってアクションプランに取組み、効果をあげることができた。
- ・ 都市間輸送の利用促進を図るため地域住民を対象とした運賃等への助成制度や鉄道利用旅行者への助成制度を設け効果を上げた。
- ・ 地域のマイレール意識の醸成に向けて、広報誌による鉄道利用の呼びかけ、フォーラムの開催、ご当地キャラクターによるPR、地元ボランティアによる駅の修繕を行うなど地域の皆様と一体となった取組みにより、意識醸成を図ることができた。  
しかしながら基本指標に定めた線別収支では基準とした平成29年度と比較して197百万円悪化し、輸送密度では87%と目標に至らなかった。
- ・ 地域と当社が連携し令和元年度は取組んできたところであるが、令和2年度は令和元年度の検証を踏まえ見直しを行い、輸送密度向上を図る。

石北線 具体的取組

I. 利用促進

1. 共通

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しづらいお客様の層等を把握するための実態調査の新設	JR北海道 全自治体	○										
(2) 輸送サービスの向上	①どのようなダイヤがよいか等、利用者のニーズを捉え、地域の皆様と意見交換の実施	自治体 JR北海道	○										
(3) マイレール意識醸成	①公共交通マップ等の作成	自治体	○										
	②地域住民向け沿線マップの作成・配布	自治体 JR北海道	○										
	③通勤の際の鉄道を含めた公共交通利用促進	自治体 その他	○										
	④地元住民との懇談会・シンポジウム・意見交換会等の実施	自治体	○										
	⑤公共交通機関利用の呼びかけ												
	ア. 広報誌等を活用した鉄道利用の呼びかけ	全自治体	○										
	イ. イベント実施時の鉄道利用促進PR 会場でのチラシ配布	自治体	○										
	ウ. ご当地キャラクターによる公共交通利用の呼びかけ	自治体	○										
	エ. 利用促進パネル展の実施 (追加)	自治体	◎										
	⑥リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	○										
⑦鉄道施設見学会などの際にJR社員から線区に関する説明の実施	JR北海道	○											
⑧マイレール運動の提唱	自治体	○											

1. 共通

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(4) 他の交通機関等との連携	①バス等との相互連携の推進	自治体 JR北海道	○										
	②イベント時の駅からの無料シャトルバスの運行	自治体	○										
(5) 拠点としての駅の活用	①駅前の整備												
	ア. 駅前ででの乗り継ぎ環境向上	自治体 その他	○										
	②駅の活用												
	ア. 駅舎の待合環境の向上	自治体 JR北海道 その他	○										
	イ. 駅内空きスペースの利活用	自治体	○										
	③駅を中心とした街にぎわい創出の検討												
ア. 駅周辺のスペースを活用した誘客等	自治体	○											
	④駅舎周辺の環境整備	自治体 その他	○										
	⑤駅前広場駐車場との連携による利用環境の向上	自治体 JR北海道	○										
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	①駅での観光案内、外国人通訳の確保等												
	ア. 駅での観光案内の取り組み	自治体 JR北海道 その他	○										
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携												
	ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	JR北海道 全自治体	○										
	イ. 鉄道利用者の拡大 (追加)	JR北海道 全自治体	○										
	ウ. 道外、海外観光客の利用拡大 (追加)	JR北海道 全自治体	○										
	エ. 本道の鉄道網の重要性に関する国民的理解、 応援機運の醸成 (追加)	JR北海道 全自治体	○										

2. 生活利用

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) お客様サービスの向上	①「スマホ定期券」の活用	JR北海道	○										
	②大規模輸送障害発生時の運休等情報内容の充実	JR北海道	○										
(2) 公共交通の利用促進	①行事等での鉄道利用の促進												
	ア. 行事等で鉄道を利用した際のJR乗車運賃等への助成	自治体	○										
	イ. 行事等での鉄道利用の呼びかけ	自治体	○										

3. 観光利用

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 道内外から石北線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施 ア. ひがし&きた北海道キャンペーンの実施やLCCと タイアップしたフリーバスの設定	JR北海道	○										
	②閑散期の需要創出 ・フリーバス等を活用した石北線利用促進の取組	JR北海道 その他	○										
	③宣伝協力 ・駅等での宣伝協力	自治体 JR北海道 その他	○										
	④鉄道利用旅行者への助成制度の導入	自治体	○										
	⑤民間団体等による利用促進活動に対する支援	自治体	○										
	⑥流水物語号の魅力向上に向けた取組	自治体 その他	○										
	⑦施設巡りバスによる着地型観光交通の取り組み	自治体 その他	○										
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様にお出掛けを促す ア. ヘルシーウォーキングの実施	自治体 JR北海道 その他	○										
	イ. ご当地キャラクターによる乗車イベントの実施	自治体 JR北海道	○										
	ウ. 鉄道施設を利用した乗車イベントの実施 (追加)	自治体 JR北海道	◎										
	②地域のお祭りやイベント等の告知などによる鉄道利用促進 ア. 駅前広場や駅舎のイベント活用による賑わいの創出	自治体 JR北海道 その他	○										
	イ. 地域イベントへの列車来場の誘引	自治体 JR北海道	○										
	③観光資源の積極的な活用 ア. フォトコンテストの実施	自治体 JR北海道	△										
	イ. オホーツク鉄道祭り (追加)	自治体 その他	◎										
	ウ. 新聞広告を活用した鉄道利用のPR (追加)	自治体	◎										
	エ. 鉄道利用のPRポスター・パンフレット作成 (追加)	自治体	◎										
	④パンフレットやHPの作成連携 ア. JR路線案内も含めた観光案内の実施	自治体	○										

3. 観光利用

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	⑤特急列車内の特産品販売 ・石北線における実施	全自治体 JR北海道 その他	○										
	⑥スタンプラリー等による利用促進策の実施	全自治体 JR北海道 その他	○										
	⑦サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	○										
	⑧市民団体等による賑わいの創出に対する助成	自治体 その他	○										
	⑨地域住民と連携した開駅周年イベントの実施 (追加)	自治体 その他	◎										

4. 広域交通

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 出張や学校行事、都市間移動等での鉄道利用	①官公庁、域内事業所等による出張等での鉄道利用の促進	全自治体 その他	○										
	②学校行事等での鉄道利用促進	自治体	○										
	③えきねっとくだ値による需要や動向を踏まえた割引の設定	JR北海道	○										



II. 経費節減

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①無人駅の管理 地域自治会等が管理している駅待合の管理の継続	自治体 その他	○										
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止についての各自治体との協議	自治体 JR北海道	○										
	②ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	自治体 JR北海道	○										

III. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	○										
	②2次交通との連携に向けた検討	自治体 JR北海道 その他	○										
(2) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託の実施の検討	全自治体 JR北海道 その他	○										
	②当社の行き届かない取組について自治体側での実施の検討	全自治体 JR北海道 その他	○										
(3) 中長期的な経費節減策についての検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について検討	全自治体 JR北海道	○										

**アクションプラン**  
**第1期計画1年目報告書**  
**(令和元年度)**  
**宗谷線**

---

**令和2年8月**

**宗谷線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表された8線区における第1期集中改革期間の事業計画（アクションプラン）に基づき、JR北海道が各線区の地域の皆様と各年度ごとに取組の結果について検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **1年目の検証結果を踏まえた上で、2年目の主要施策やKPI指標について必要な見直しを行い、より効果的な対応を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### ○ 基本指標の概況

- ・線区別収支については、▲5,138百万円となり基準とした平成29年度より426百万円改善した。  
営業収益は対前年9百万円減少した1,033百万円（前年比99%）、営業費用は対前年191百万円減少した6,171百万円（前年比97%）となった。営業損失は対前年182百万円改善した。
- ・輸送密度は、名寄・稚内間では316人/日となり基準とした平成29年度より36人/日減少し、旭川・名寄間では1,336人/日となり平成29年度より116人/日減少した。

#### ▼令和元年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (目標)	令和元年度 (実績)	目標 達成	備考
線区別収支	▲5,564百万円	▲5,564百万円	▲5,138百万円	達成	
輸送密度 (名寄・稚内)	352人/日	352人/日	316人/日	未達成	
輸送密度 (旭川・名寄)	1,452人/日	1,452人/日	1,336人/日	未達成	

### 3. 具体的取組の検証

#### ○ 進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が11%、達成見込「○」が80%、一部達成「△」が2%、見込無「×」が1%、未評価「－」が5%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙に整理している。

#### ▼令和元年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	9	11%	フォーラムの開催、駅舎・駅前整備に関する項目の一部、および「風っこそうや」の取組において令和元年度中に目標を達成した。
○	65	80%	地域の皆様のご協力により項目の8割において一年目の目標を達成した。二年目の目標達成に向けて取り組みを進める。
△	2	3%	「フリーパス等を活用した宗谷線利用促進の取組」に苦慮しているほか、イベント開催時の利用促進PRで目標達成に至っていない項目がある。
×	1	1%	鉄道撮影者に対するマナー啓発活動が実施に至らなかった。
－	4	5%	駅設備改修や駅を中心とした街づくりに関する項目、業務委託に関する項目に未評価がある。
合計	81	100%	

# 4. 令和元年度象徴的な取組について①-1

取組内容	取組状況	目標達成
<p>(1) 観光列車「風っこそうや」による観光需要の創出</p>	<p>JR東日本より車両をお借りし、令和元年7月28日から9月8日の期間で計14日、観光列車「風っこそうや号」を運転しました。</p> <p>(7月27日は大雨により運休) 運転に先立ち7月11日上野駅、12日横浜駅で「風っこそうや」号のPRキャラバンを実施しました。</p> <p>運行にあたり、停車駅では特産品販売やご当地キャラのお出迎えなど、沿線各自治体による趣向を凝らしたおもてなしを実施しました。また、地域住民の皆様から列車へ手を振つての見送りがご乗車のお客様に大変ご好評でした。</p> <div style="text-align: center;">  <p>(令和元年7月28日撮影・南稚内駅～抜海駅間)</p>  <p>(令和元年7月12日撮影・横浜駅でのPR) (令和元年8月17日撮影・音威子府駅)</p> </div>	

## 4. 令和元年度象徴的な取組について①-2

### 観光列車「風っこそうや」運転における、沿線の皆様によるおもてなし

#### ■ 令和元年7月28日～8月12日 北部運転（稚内～音威子府間）



(令和元年7月撮影・稚内駅)



(令和元年7月撮影・豊富駅)



(令和元年7月撮影・幌延駅)



(令和元年7月撮影・天塩中川駅)

#### ■ 令和元年8月17日～9月8日 南部運転（旭川～音威子府間）



(令和元年8月17日撮影・旭川駅)



(令和元年8月撮影・比布駅)



(令和元年8月撮影・和寒駅)



(令和元年8月撮影・剣淵駅)



(令和元年8月撮影・士別駅)



(令和元年8月撮影・名寄駅)



(令和元年8月撮影・美深駅)

## 4. 令和元年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況	目標達成
<p>(2) コストダウンの取組に対するご理解</p> <p>極端にご利用の少ない駅の廃止または自治体による維持管理についての各自治体との協議</p>	<p>各自治体では、ご利用の少ない駅(乗車人員3名/日)の廃止または自治体による維持管理にむけて、独自に乗車人員調査の実施や地域住民との意見交換、アンケート調査などをおこないました。</p> <p>令和2年3月、対象の29駅が位置している宗谷線沿線11市町村が、宗谷本線活性化推進協議会を通じてご利用の少ない駅について「廃止」または「自治体負担による維持管理」の方向性を示すことができました。提示いただいた方向性に基づいて各自治体と協議を進めています。</p>	○
<p>(3) 貨客混載の検討</p>	<p>令和元年年4月18日より佐川急便とJR北海道は協働し、宗谷線稚内駅～幌延駅間(片道60.0km)にて旅客列車を利用して宅配便を運ぶ貨客混載事業を開始しました。</p>	◎



(令和2年2月22日撮影・住民説明会の様子)




(令和元年撮影・積載の様様)



## 4. 令和元年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況	目標達成
(4) 特急列車内の特産品販売	<p>沿線地域の魅力ある商品をお客様に楽しんでいただくため、旭川市、稚内市の皆様の特急列車車内での特産品販売を実施しました。平成31年4月6日(土)から令和2年1月18日(土)までの土曜日で、計14回実施しました。</p>  <p>(令和元年撮影・車内での販売の様様)</p>	○
(5) JR北海道応援ポスターの作成	<p>令和元年9月、北海道士別翔雲高校の学生が「JR応援ポスター」を作成しました。同校では平成29年度より、鉄道利用促進などを目的としたポスター作成を継続しており、今回も士別駅をはじめ士別市内各所に掲出しました。</p>  <p>(令和2年2月7日撮影・士別駅)</p>	○

## 4. 令和元年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況	目標達成
(6) 地域の皆様と一体となった取組み	<p>令和元年12月23日から1月19日まで、旭川駅で「宗谷線フォトコンテスト」受賞作品のパネル展を行いました。このコンテストは宗谷線の魅力をPRして利用促進をはかるために宗谷本線活性化推進協議会が企画し、132点の応募がありました。</p>  <p>(令和元年12月23日撮影・旭川駅)</p>	○

## 5. 令和元年度取組の検証

- ・ JR北海道と沿線自治体等が一体となってアクションプランに取組み、効果をおげることができた。
- ・ 地域と連携して観光誘客をはかり沿線を活性化させる手段として、観光列車「風っこそうや」号の取組は非常に有効なモデルケースとなった。
- ・ 「宗谷線フォトコンテスト」の実施など、宗谷本線沿線地域と連携したことによって、多くの取組項目において円滑な実施につながった。
- ・ 基本指標に定めた線別収支では基準とした平成29年度と比較して426百万円の改善で目標に達しているが、輸送密度では旭川～名寄92%、名寄～稚内90%と、両区間とも目標達成に至らなかった。
- ・ 令和元年度は地域と当社が連携して取組を実施してきたが、令和2年度についても見直しを図りつつ、継続して取り組んでいく。

宗谷線 具体的取組

I. 利用促進

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を把握するための実態調査の新設	JR北海道 全自治体	○										
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様と意見交換を実施	自治体 JR北海道	○										
(3) マイレール意識醸成	①通勤・出張の際の鉄道を含めた公共交通利用促進	自治体 その他	○										
	②公共交通機関利用の呼びかけ												
	ア. JR関係企画展の開催	自治体	○										
	イ. 広報誌等による鉄道利用の呼びかけ	自治体	○										
	ウ. 応援ポスター等の作成及び実施	自治体 その他	○										
	エ. 博物館等における鉄道歴史学習等	自治体	○										
	オ. ご当地キャラクターによる公共交通利用の呼びかけ	自治体	○										
	カ. イベント実施時のJR利用促進PR会場でのチラシ配布等	自治体	○										
	キ. フォーラムの開催	自治体	◎										
	(追加)												
	ク. 利用促進パネル展の実施	自治体	◎										
	(追加)												
	ケ. 地元住民との懇談会・意見交換会の実施	自治体 その他	○										
	(追加)												
	コ. 宗谷線フォトコンテストの実施	全自治体	○										
(追加)													
サ. 園児列車乗車体験	自治体	○											
(追加)													
③リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	○											
④鉄道施設見学会などの際にJR社員による線区に関する説明の実施	JR北海道	○											

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(4) 他の交通機関等との連携	① バス、フェリー等との相互連携の推進										
	ア. JRダイヤ改正に合わせた地域バス時刻の変更	自治体 その他	○								
	イ. イベント時の駅からの無料シャトルバスの運行	自治体	○								
(5) 拠点としての駅の活用	① 観光案内所・売店・飲食店等の設置										
	ア. 駅と隣接する観光情報センターの設置及び特別乗車票の販売等	自治体 JR北海道	○								
	② 駅舎の整備										
	ア. 駅の修繕・改修	自治体 JR北海道	◎								
	③ 駅前の整備、活用										
	ア. 駅前花壇整備	自治体 その他	○								
	イ. パーク&トレインの拡大	自治体 JR北海道	◎								
	ウ. 駅前広場の改修	自治体 JR北海道	—								
	エ. 駅前での乗り継ぎ環境向上	自治体 その他	○								
	オ. 駅前広場駐車場との連携による利用環境向上	自治体 JR北海道	○								
カ. 冬季における駅前の装飾	自治体	○									

1. 共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
			H29		H30		R1		R2			
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(5) 拠点としての駅の活用	④駅の活用											
	ア. 駅内に移住促進の相談コーナーの設置	自治体 JR北海道	—									
	イ. 駅内の未使用空間の利活用	その他	○									
	ウ. 駅舎の待合環境の向上	自治体 JR北海道 その他	○									
	⑤駅の利便性の向上											
	ア. 駅裏通路等の新設による利便性の向上	自治体	◎									
	イ. 駅前トイレの設置による利便性の向上 (5~10月)	自治体	○									
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	①駅での観光案内、外国人通訳の確保、きっぷの販売等											
	ア. 駅におけるきっぷの販売	自治体 JR北海道	○									
(7) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①協議会等での取り組み	全自治体 JR北海道 その他	○									
(8) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携											
	ア. 公共交通の利用促進にむけた道民運動の展開	JR北海道 全自治体	○									
	イ. 鉄道利用者の拡大	JR北海道 全自治体	○									
	ウ. 道外、海外観光客の利用拡大	JR北海道 全自治体	○									
	エ. 本道の鉄道網の重要性に関する国民的理解、 応援機運の醸成	JR北海道 全自治体	○									

2. 生活利用

取組内容		事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) お客様サービスの向上	① 大規模輸送障害発生時の運休等情報内容の充実	JR北海道	○										
	(2) 公共交通の利用促進	① 鉄道利用促進のための補助制度等の検討および導入											
	ア. 高齢者へのJR回数券の交付	自治体	○										
	イ. 高校通学生への通学補助	自治体	○										
	ウ. JR乗車運賃等への助成 (追加)	自治体	◎										

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 道内外から宗谷線にお越し いただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施 ・LCCとタイアップしたフリーパスの設定	JR北海道	○										
	②閑散期の需要創出 ・フリーパス等を活用した宗谷線利用促進の取組	JR北海道 その他	△										
	③宣伝協力 ・駅等での宣伝協力	JR北海道 自治体 その他	○										
	④観光列車「風っこそうや」による観光需要の創出	JR北海道 全自治体 その他	◎										
(2) 地域の皆様と連携した取組の 推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様を対象とした お出かけの呼びかけ												
	ア. 地域住民を対象とした日帰り旅行の実施	自治体	○										
	イ. 町民乗車票販売による利便性確保	自治体 JR北海道	○										
	ウ. ヘルシーウォーキングの実施	自治体 JR北海道 その他	○										
	②地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進												
	ア. イベント時の特急列車等増結への協力	自治体 JR北海道	△										
	イ. 駅等におけるイベントの実施	自治体 その他	○										
	ウ. 地域のイベントと連動した鉄道利用促進策の実施	自治体 その他	○										
	エ. イベント時のJR利用者に対する特産品プレゼント	自治体	○										
	オ. 鉄道関連イベントの実施による 鉄道利用促進の取り組み (追加)	自治体	○										



3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	③観光資源の積極的な活用												
	ア. 駅舎や車両を題材とした絵画コンクール等の実施	自治体	○										
	イ. 秘境駅保存のための「ふるさと納税」創設、 保全イベントの実施	自治体 JR北海道	○										
	ウ. 沿線PR活動等の実施	その他	×										
	エ. 沿線観光名所の整備及び名所を活かしたイベント の開催	自治体 JR北海道 その他	○										
	オ. サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	○										
	カ. 新聞広告を活用した鉄道利用PR (追加)	自治体	○										
	キ. 鉄道利用のPRポスター、パンフレットの作成 (追加)	自治体	○										
	④パンフレットやHPの作成連携												
	ア. イベントパンフレットや観光案内パンフレットによる JR利用の呼びかけ	自治体 その他	○										
	イ. 秘境駅キャラクター名刺作成 (追加)	自治体	◎										
	⑤宗谷線を組み入れた旅行会社等と協力したイベント 等の企画・実施												
	ア. ツアーの企画・実施	自治体 JR北海道	○										
	⑥特産品・グッズ等の企画・販売												
ア. 地元限定宗谷本線グッズ、駅PRグッズ等の販売等	自治体 その他	○											
⑦特急列車内の特産品販売 ※宗谷線における継続実施	自治体 JR北海道 その他	○											

4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 出張や都市間移動等での鉄道利用	①官公庁における出張時の鉄道利用の取り組み	全自治体	○										
	②えきねっとくた値による需要や動向を踏まえた割引の設定	JR北海道	○										

II. 経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託の実施 ・乗車券の発売	自治体 JR北海道	○										
	②駅舎、待合室の自治体等による維持管理	自治体	○										
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止または自治体による維持管理についての各自治体との協議 ・第1期集中改革期間中に取り扱いを整理し、実施する。	自治体 JR北海道	○										
	②ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	自治体 JR北海道	○										

Ⅲ. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) あるべき交通体系について 徹底的な検討	①さらに利用されるダイヤの構築の研究等	自治体 JR北海道 その他	○										
	②2次交通との連携に向けた検討	自治体 JR北海道 その他	○										
(2) 拠点としての駅の活用	①観光案内所・売店・飲食店等の設置拡大の検討	自治体 JR北海道 その他	○										
	②駅を中心とした街づくり ・駅周辺に店舗・公共施設の設置の推進のお願い	自治体 JR北海道	—										
(3) 業務の一部をお願いすることによる 経費圧縮のご相談	①業務委託のご相談	自治体 JR北海道 その他	—										
	②業務のお手伝いのお願い	自治体 JR北海道 その他	○										
	③当社の行き届かない取組に対するご協力	自治体 JR北海道 その他	○										
(4) 中長期的な利用促進策について の検討	①中長期的な視点に立った利用促進の可能性について 検討	自治体 JR北海道 その他	○										
(5) 中長期的な経費節減策について の検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性に ついて検討	自治体 JR北海道	○										
(6) 客貨混載の検討	①実施に向けた検討	JR北海道 自治体 その他	◎										

**アクションプラン**  
**第1期計画1年目報告書**  
**(令和元年度)**  
**富良野線**

---

**令和2年8月**

**富良野線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画1年目の取組状況について、富良野線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **1年目の検証結果を踏まえた上で、2年目の主要施策やKPI指標について必要な見直しを行い、より効果的な対応を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### ○ 基本指標の概況

- ・ 線区別収支は▲1,015百万円となり、基準とした平成29年度より17百万円悪化した。営業収益は373百万円（前年比▲1百万円、100%）、営業費用は1,388百万円（前年比▲51百万円、96%）となった。
- ・ 輸送密度は1,419人/日となり、基準とした平成29年度より178人/日減少した。

#### ▼令和元年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (目標)	令和元年度 (実績)	目標 達成	備考
線区別収支	▲998百万円	▲998百万円	▲1,015百万円	未達成	
輸送密度	1,597人/日	1,597人/日	1,419人/日	未達成	

### 3. 具体的取組の検証



#### ○ 進捗状況

- ・アクションプランの具体的取組にあたっては、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら進め、進捗状況は目標達成「◎」が8% 達成見込み「○」が83%、一部達成「△」が2%、見込無「×」が0%、未評価「—」が8%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

##### ▼令和元年度アクションプラン進捗状況



進捗状況	件数	割合	コメント
◎	4	8%	「地域住民向け沿線観光マップの作成・配布の実施」「利用促進パネル展の実施」の取組において令和元年度中に目標達成。
○	43	83%	地域の皆様のご協力により項目の8割が一年目の目標達成。
△	1	2%	富良野・美瑛ノロッコ号と富良野美瑛号の利用が目標達成に至らなかった。2年目は、富良野線全線開通120周年企画などで目標達成を目指す。
×	0	0%	—
—	4	8%	「業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談」の項目で一部未評価がある。
合計	52	100%	

## 4. 令和元年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況	目標達成	
(1) 鉄道施設見学ツアー実施	<p>7月27日（土）、旭川市が小学生の親子を対象とした「JRこども見学ツアー」を実施しました。一行約20名が旭川駅と旭川運転所を見学しました。</p>	 <p>(令和元年7月27日撮影・旭川運転所)</p>	○
(2) 富良野線120周年関連イベントの実施	<p>9月1日、地元有志の皆様が主催し、開駅120周年イベントを開催しました。沿線の郷土太鼓によるライブや沿線の物産品を集めた駅マルシェのほか、美瑛駅の歴史を振り返るトークライブが行われ、駅の記念日を祝いました。</p>	 <p>(令和元年9月1日撮影・美瑛駅)</p>	○



## 4. 令和元年度度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況	目標達成
<p>(3) ご当地キャラクターによる公共交通利用の呼びかけ</p>	<p>10月14日（月・祝）、富良野線乗車イベント「鉄道でGO」を開催しました。沿線の5駅でご当地キャラクター（旭川市、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市）から渡された指令書を基に、列車に乗ってミッションをクリアするとプレゼントがもらえる企画に143名が参加しました。</p>	 <p>(令和元年10月14日撮影・旭川駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
<p>(4) 観光案内所の設置</p>	<p>富良野・美瑛キャンペーンにあわせ、上富良野駅に「かみふらの十勝岳観光協会」が中富良野駅には「中富良野観光協会」が観光案内所を設置し外国語通訳スタッフを配置しました。</p> <p>富良野・美瑛ノロッコ号のお客様などに地域の魅力をご案内しました。</p>	 <p>(令和元年6月撮影・上富良野駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>

## 4. 令和元年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況	目標達成
(5) 鉄道関係講演会・フォーラムの実施	<p>11月12日（火）、旭川市で鉄道維持に関するフォーラム「鉄道利用フォーラム～乗って発見！鉄道の魅力～」を開催しました。市内外から約200名が参加し、富良野線などの維持に向けてすべきこと、鉄道の利用促進などを討議しました。</p>	○
(6) 富良野・美瑛キャンペーンの実施	<p>JR北海道では富良野線沿線を美しく彩る季節の花々やパッチワークの風景をお客様にお楽しみいただくため、6月から「富良野・美瑛キャンペーン」を展開した。毎年恒例となっている臨時駅「ラベンダー畑駅」の設置のほか、本年は富良野・美瑛ノロッコ号で新しいデザインの機関車が運転するなど、富良野線の利用促進に取組みました。</p>	○



(令和元年11月12日撮影・旭川市内)



(令和元年6月撮影・旭川駅)

## 5.令和元年度取組の検証

- ・ JR北海道と沿線自治体等が一体となってアクションプランに取組み、効果をあげることができた。
- ・ 基本指標に定めた線別収支・輸送密度では、「富良野・美瑛ノロッコ号」をご利用のインバウンド旅客の減少等により目標に至らなかった。
- ・ マイレール意識醸成を図るべく、シンポジウム開催や鉄道施設見学ツアー等を実施して鉄道に親しんでいただく取組みを実施して、地域の皆様の関心を高めた。
- ・ 「富良野・美瑛ノロッコ号」のご利用が低調だったことから、令和2年度は富良野線全線開通120周年企画をはじめとして、同列車のご利用促進を含めた取組みを進める。
- ・ 経費節減の取組は、具体的な事例に関する協議開始には至っていないため、今後進捗させる。

富良野線 具体的取組

I 利用促進

1.共通

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を把握するための実態調査の新設	JR北海道 全自治体	○										
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様と意見交換を実施	自治体 JR北海道	○										
(3) マイレール意識醸成	①通勤の際の鉄道利用の呼びかけ	自治体 その他	○										
	②地元住民との懇談会・シンポジウム・意見交換会等の実施	全自治体 JR北海道	○										
	③リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解いただく資料の作成	JR北海道	○										
	④鉄道施設見学会などの際にJR社員から線区に関する説明の実施	JR北海道 自治体	○										
	⑤公共交通機関利用の呼びかけ												
	ア. 広報誌等による鉄道利用の呼びかけ	全自治体	○										
	イ. イベント実施時の鉄道利用促進PR 会場でのチラシ配布	自治体	○										
	ウ. 鉄道施設見学ツアー実施	全自治体 JR北海道	○										
	エ. 地域住民向け沿線観光マップの作成・配布の実施	全自治体	◎										
	オ. ご当地キャラクターによる公共交通利用の呼びかけ	自治体	○										
カ. 利用促進パネル展の実施 (追加)	自治体	◎											

1.共通

取組内容		事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(4) 他の交通機関等との連携	①バス等との相互連携のための勉強会の実施 ・ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡	自治体 JR北海道 その他	○										
	②イベント時の駅からの無料シャトルバスの運行	自治体	○										
(5) 拠点としての駅の活用	①観光案内所設置	自治体	○										
	②駅前の乗り継ぎ環境の向上	自治体 その他	○										
	③駅前広場駐車場との連携による利用環境の向上	自治体 JR北海道	○										
	④駅内スペースの活用 ・駅舎の待合環境の向上	自治体 JR北海道 その他	○										
(6) 当社の行き届かない取組に対するご協力	①外国人への通訳対応	自治体	○										
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携												
	ア. 公共交通の利用促進に向けた道民運動の展開	北海道 JR北海道 全自治体	○										
	イ. 鉄道利用者の拡大 (追加)	北海道 JR北海道 全自治体	○										
	ウ. 道外、海外観光客の利用拡大 (追加)	北海道 JR北海道 全自治体	○										
	エ. 本道の鉄道網の重要性に関する国民的理解、 応援機運の醸成 (追加)	北海道 JR北海道 全自治体	○										

2.生活利用

取組内容		事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) お客様サービスの向上	①大規模輸送障害発生時の運休等情報内容の充実	JR北海道	○										
(2) 公共交通の利用促進	①行事等での鉄道利用の呼びかけ	自治体	○										
	②鉄道利用促進のための補助制度等の検討および導入	自治体	○										

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール										
			H29		H30		R1		R2				
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期			
(1) 道内外から富良野線にお越し いただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施 ・富良野・美瑛キャンペーンの実施 ・観光列車の運行 等	JR北海道	△										
	②閑散期の需要創出 ・フリーパス等を活用した富良野線利用促進の取組	JR北海道 その他	○										
	③宣伝協力 ・駅等での宣伝協力	JR北海道 自治体 その他	○										
	④富良野線「音声ガイド」GPSアプリの実施	JR北海道	○										
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線や周辺地域にお住まいの皆様を対象とした お出かけの呼びかけ												
	ア. ヘルシーウォーキングの実施	自治体 JR北海道 その他	○										
	イ. ご当地キャラクターによる乗車イベントの実施	全自治体 JR北海道	○										
	ウ. 鉄道施設を利用した乗車イベントの実施	自治体	○										
	②地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進												
	ア. 駅舎内及び駅前広場のイベント活用による賑わいの創出	自治体 JR北海道 その他	○										
	③観光資源の積極的な活用												
	ア. フォトコンテスト、写生コンクールの実施	全自治体 JR北海道	○										
	イ. JR路線案内も含めた観光案内の実施	自治体	○										
	ウ. 新聞広告を活用した鉄道利用のPR (追加)	自治体	◎										
	エ. 鉄道利用のPRポスター・パンフレット作成 (追加)	自治体	◎										
	④町イベント等のポスターを駅舎に掲示	自治体 JR北海道	○										
	⑤サイクリング観光客への鉄道利用PR	自治体 その他	○										
	⑥富良野線120周年関連イベントの実施	JR北海道 自治体	○										

4. 広域交通

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 出張や学校行事、都市間移動等での鉄道利用	①官公庁、域内事業所等による出張等での鉄道利用の促進	自治体	○								
	②学校行事等での鉄道利用の呼びかけ	自治体	○								

経費節減

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①無人駅の管理 地域自治会等が管理している駅待合の管理の継続	自治体	○								
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	自治体 JR北海道	○								

第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容	事業主体	目標達成 (第4四半期)	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	○								
	②2次交通との連携に向けた検討	自治体 JR北海道 その他	○								
(2) 拠点としての駅の活用	①駅舎の整備 ア. 駅舎バリアフリーにむけた検討協議	自治体	○								
(3) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談	①業務委託のご相談	全自治体 JR北海道 その他	—								
	②業務のお手伝いをお願い	全自治体 JR北海道 その他	—								
	③当社の行き届かない取組に対するご協力	全自治体 JR北海道 その他	—								
(4) 中長期的な経費節減策についての検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について検討	全自治体 JR北海道	—								

**アクションプラン**  
**第1期計画1年目報告書**  
**(令和元年度)**  
**根室線**

---

**令和2年8月**

**根室線アクションプラン実行委員会**



# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画1年目の取組状況について、根室線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **検証結果を踏まえた上で、主要施策やKPI指標について必要な見直しを行い、より効果的な対応を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### (1) 基本指標の概況

#### ○滝川～富良野間

- ・線区別収支は▲1,089百万円となり、基準とした平成29年度より181百万円改善した。営業収益は130百万円(前年比▲14百万円、90%)、営業費用は1,219百万円(前年比▲31百万円、98%)となった。※野花南～富良野間架道橋損傷に伴う復旧費用等を含む
- ・輸送密度は386人/日となり、基準とした平成29年度より42名/日減少した。

#### ○富良野～新得間

- ・線区別収支は▲863百万円となり、基準とした平成29年度より158百万円悪化した。営業収益は32百万円(前年比▲2百万円、94%)、営業費用は894百万円(前年比+127百万円、116%)となった。
- ・輸送密度は82人/日となり、基準とした平成29年度より10名/日減少した。

#### ▼令和元年度基本指標の収支状況

区間	項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (目標)	令和元年度 (実績)	目標 達成	備考
滝川 ～ 富良野	線区別収支	▲1,270百万円	▲1,270百万円	▲1,089百万円	達成	
	輸送密度	428人/日	428人/日	386人/日	未達成	
富良野 ～ 新得	線区別収支	▲705百万円	—	▲863百万円	—	
	輸送密度	92人/日	—	82人/日	—	

### 3. 具体的取組の検証



#### (1) 進捗状況

- ・アクションプランの具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、目標達成「◎」が7%、達成見込「○」が69%、一部達成「△」が13%、見込無「×」2%、未評価「－」が9%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。



##### ▼令和元年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	3	7%	フォトコンテスト入賞作品を新千歳空港駅改札口前のデジタルサイネージ広告に掲出し、根室線の魅力を発信した。
○	31	69%	「マイレール意識醸成」、「拠点としての駅の活用」に多くの自治体の取組があり、「コストダウンの取組に対するご理解」の協議を開始した。
△	6	13%	「あるべき交通体系の検討」に関する議論を開始した。
×	1	2%	ノーマイカーデーの実施について、検討に至らなかった。
－	4	9%	「地域の皆様とダイヤ検討」が未評価。
合計	45	100%	



## 4. 令和元年度象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等		目標達成
<p>(1) フォトコンテストの写真を活用した年間カレンダーの作成・配布、リーフレットの作成</p>	<p>12月20日、富良野市内事業所等約150箇所に根室本線対策協議会作成のカレンダーとアクションプラン実行委員会作成のリーフレットを直接配布し、線区の現状を理解いただくとともに利用促進を訴えました。</p>	 <p>(令和元年12月20日撮影・富良野市)</p>	<p>◎</p>
<p>(2) 宣伝協力</p>	<p>12月24日から30日まで、新千歳空港駅改札前のデジタルサイネージ広告に、根室本線対策協議会が主催したフォトコンテスト入賞作品を掲出しました。帰省・観光で駅をご利用のお客様に向けて根室線の魅力を発信しました。</p>	 <p>(令和元年12月26日撮影・新千歳空港駅)</p>	<p>◎</p>

## 4. 令和元年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
(3) 駅的环境美化の取組	<p>ふらの観光協会・富良野建設業青年会により、富良野駅前ロータリーに花壇を整備しました。ポットには、富良野市の特産品であるワイン樽を使い、ラベンダーを中心とした花々をベストシーズンに合わせて植え、国内外から訪れる観光客をお出迎えしています。</p>	 <p>(令和元年7月25日撮影・富良野駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>
(4) 観光案内所の設置	<p>「たきかわ菜の花まつり」に合わせ、5月16日～22日、滝川駅待合室内に期間限定の案内所を設置しました。JRを利用して滝川に来られたお客様にイベント内容やアクセス等をご案内しました。</p>	 <p>(令和元年5月18日撮影・滝川駅)</p> <p style="text-align: center;">○</p>

## 4. 令和元年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況等	目標達成	
(5) 行事等での鉄道利用 及び呼びかけ	<p>8月3日、「あかびらマラニック(マラソンとピクニックをあわせた造語)」にあわせて、根室線を利用して参加した皆様を対象とした抽選会を実施しました。今年は会場へのシャトルバスルートを変更し、根室線の利用促進を図りました。</p>	 <p>(令和元年8月3日撮影・赤平駅)</p>	○
(6) 観光列車の運行	<p>札幌～富良野間の「フラノラベンダーエクスプレス」として活躍した「クリスタルエクスプレス」が9月29日にラストランを迎えました。地域皆様のご協力による特産品販売、太鼓演奏、ご当地キャラクターのお見送り等を富良野駅で実施しました。</p>	 <p>(令和元年9月29日撮影・富良野駅)</p>	○

## 4. 令和元年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況等		目標達成
(7) 拠点としての駅の活用	<p>1月16日に開業100周年を迎えた上芦別駅において、駅前の花壇整備などを行っている地元町内会により記念看板の設置を行うとともに、待合室内において写真展を開始しました。</p>	 <p>(令和2年2月13日撮影・上芦別駅)</p>	○
(8) あるべき交通体系について徹底的な検討	<p>富良野～新得間の交通体系について、ご利用状況・沿線の公共交通の現状等について、10月に開催したアクションプラン実行委員会幹事会で説明しました。</p>	 <p>(令和元年10月28日撮影・富良野市)</p>	○

## 5. 令和元年度取組の検証

- ・ JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランに取り組み、効果をあげることができた。
- ・ 基本指標とした滝川～富良野間の線別収支は、基準とした平成29年度を上回り、目標を達成することができた。
- ・ 前年度に根室本線対策協議会の事業として実施した、フォトコンテストの入賞作品を活用した根室線利用促進の取組により、沿線住民、道内外のお客様に対して確かなPRを実施した。
  - ①沿線住民向けカレンダーの作成  
(毎月14日を鉄道利用促進の日と指定)
  - ②新千歳空港駅デジタルサイネージ広告の掲出
- ・ 観光ルートとしての交通体系確保・充実に向けた富良野～トマム間のバスの検討・試行について、令和2年度の試行実施に向けて調整を進めた。
- ・ 滝川～富良野、富良野～新得間の交通体系について、ご利用状況・沿線の公共交通の現状等について説明した。



根室線 具体的取組

I. 利用促進

1. 共通

取組内容	滝川～富良野 富良野～新得	事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 利用実態調査	◎ ◎	全自治体 JR北海道	○										
(2) 輸送サービスの向上	◎ ◎	全自治体 JR北海道	—										
(3) マイレール意識醸成	①JR北海道に対する関心を高める取組												
	ア. 広報誌やホームページ等によるJRに関する利用促進特集等情報掲載	◎ ◎	全自治体	○									
	イ. 鉄道とバス等を組み合わせた域内総合刻表やJR時刻表の作成・配付	◎ ◎	自治体	○									
	ウ. 地元住民との懇談会・意見交換会等の実施	◎ ◎	自治体	○									
	エ. 根室線の維持・活性化に向けたシンポジウムの実施	◎ ◎	全自治体	○									
	②ノーマイカーデーの実施		自治体	×									
	③フォトコンテストの写真を活用した年間カレンダーの作成・配布	◎ ◎	全自治体 その他	◎									
	④リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革の内容等について利用者にご理解いただく資料の作成	◎ ◎	JR北海道	○									
⑤鉄道教室の実施 教育現場にJR社員が赴き線区に関するPRを実施	◎ ◎	JR北海道 全自治体	○										
(4) 他の交通機関等との連携	◎ ◎	自治体 JR北海道 他交通機関	○										

取組内容		滝川～ 富良野	富良野 ～新得	事業主体	目標達成	スケジュール							
						H29		H30		R1		R2	
						上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
(5) 拠点としての駅の活用	①観光案内所の設置	◎	◎	自治体	○								
	②駅舎の整備												
	ア. 合築駅舎の整備	◎	◎	自治体 JR北海道	○								
	イ. トイレ整備 ・地域と共同による整備・維持・管理	◎	◎	自治体 JR北海道	○								
	・公営施設トイレの駅利用者利用	◎		自治体									
	③駅前の整備												
	ア. 駅前広場の整備	◎	◎	自治体 JR北海道	○								
	イ. お客様向け駐車場の整備		◎	自治体 JR北海道	○								
④駅の活用													
ア. 地域の皆様に自由に使っていただく取組	◎	◎	自治体	○									
⑤駅を中心とした街づくり													
ア. 駅周辺に店舗・公共施設の設置拡大	◎	◎	自治体	○									
(6) 当社の行き届かない取組 に対するご協力	①駅における大型荷物対応 ・宅配窓口の設置	◎	◎	自治体 その他	○								
	②駅の環境美化の取組 ・駅前花壇整備	◎	◎	自治体 その他	○								
(7) 全道利用促進取組との連携	①北海道鉄道活性化協議会との連携	◎	◎	全自治体 JR北海道	○								

2. 生活利用

取組内容		滝川～富良野 富良野～新得	事業主体	目標達成	スケジュール												
					H29		H30		R1		R2						
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期					
(1) お客様サービスの向上	①大規模輸送障害発生時の運休等情報内容の充実	◎	◎	JR北海道	○												
(2) 公共交通の利用促進	①行事等での鉄道利用及び呼びかけ	◎	◎	自治体	○												

3. 観光利用

取組内容		滝川～富良野 富良野～新得	事業主体	目標達成	スケジュール												
					H29		H30		R1		R2						
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期					
(1) 道内外から根室線にお越しいただくための取組	①商品造成やキャンペーンの実施 ア.「富良野・美瑛キャンペーン」の実施	◎	◎	JR北海道	△												
	②観光列車の運行 ・PR強化によるフラノラベンダーエクスプレスの乗車人員増加	◎		JR北海道	△												
	③閑散期の需要創出 ア.フリーパス等を活用した根室線利用促進の取組	◎	◎	JR北海道	○												
	④宣伝協力 ア.駅等での宣伝協力	◎	◎	JR北海道 自治体	◎												
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進の検討・実施	◎	◎	自治体 JR北海道	○												
	②地域との連携、観光資源の積極的な活用 ・北の産業革命「炭鉄港」を活用した根室線の利用促進	◎		自治体	○												

4. 広域交通

取組内容		滝川～富良野 富良野～新得	事業主体	目標達成	スケジュール												
					H29		H30		R1		R2						
					上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期					
(1) 都市間移動時の利用促進	①札幌等への出張時に、滝川・新得・富良野までの鉄道利用	◎		自治体	○												
	②学校行事における鉄道利用の提案・呼びかけ	◎	◎	自治体 JR北海道	○												

I. 経費節減

取組内容	滝川～富良野 富良野～新得	事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①業務委託												
	ア. 乗車券の発売	◎		自治体	○								
	イ. 駅の放送、清掃	◎		自治体	○								
	ウ. 駅舎の管理		◎	自治体	○								
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止について各自治体との協議	◎	◎	自治体 JR北海道	○								
	②ご利用の少ない踏切の見直しについて各自治体との協議	◎	◎	自治体 JR北海道	○								
	③老朽化した駅舎・跨線橋の見直し	◎	◎	自治体 JR北海道	—								

II. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

取組内容	滝川～富良野 富良野～新得	事業主体	目標達成	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 3つの側面からの検討・協議(生活・観光・物流)	①協議会の開催 ・協議会の方針に基づき、事務レベル会議を含めて、各種テーマの検討を進める	◎	◎	自治体 JR北海道	○								
(2) あるべき交通体系について徹底的な検討	①2次交通も含めたあるべき交通体系について検討の開始	◎	◎	自治体 JR北海道	△								
	②富良野～新得間における、あるべき交通体系の検討		◎	自治体 JR北海道	△						※協議に期限を設けない		
(3) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①相互連携の検討	◎	◎	自治体 JR北海道 その他	—								
(4) 拠点としての駅の活用の検討	①駅前周辺の再整備		◎	自治体 JR北海道	◎								
	②駅舎の整備 ・駅舎のバリアフリーに向けた検討・協議	◎	◎	自治体 JR北海道	—								
(5) 中長期的な経費節減策の検討	①中長期的な視点に立った設備内容のスリム化検討	◎	◎	自治体 JR北海道	△								
(6) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮	①当社の行き届かない取組に対する自治体側での実施の検討	◎	◎	自治体 JR北海道 その他	△								

**アクションプラン**  
**第1期計画1年目報告書**  
**(令和元年度)**  
**室蘭線**

---

**令和2年8月**

**室蘭線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、平成31年4月9日に公表されたアクションプラン第1期計画1年目の取組状況について、室蘭線アクションプラン実行委員会が検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **検証結果を踏まえた上で、主要施策やKPI指標について必要な見直しを行い、より効果的な対応を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### ○基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲1,108百万円となり、基準とした平成29年度より125百万円改善した。  
営業収益は、121百万円（前年比+3百万円、103%）、営業費用は、1,228百万円（前年比▲117百万円、91%）となった。
- ・輸送密度は、388人/日となり、基準とした平成29年度より51人/日減少した。

### ▼令和元年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (目標)	令和元年度 (実績)	目標達成
線区別収支	▲1,233百万円	▲1,233百万円	▲1,108百万円	達成
輸送密度	439人/日	439人/日	388人/日	未達成

### 3. 具体的取組の検証

#### ○進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、  
目標達成「◎」が0%、達成見込「○」が83%、  
一部達成「△」が11%、見込無「×」0%、未評価「－」が6%  
となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙を参照。

#### ▼令和元年度アクションプラン進捗状況

進捗状況	件数	割合	コメント
◎	0	0%	◎は単年度限りの取組で達成したもの、もしくは2年間の取組で達成したものに評価するため、単年度限りの取組がない室蘭線については、現段階で◎の評価はなし
○	38	83%	「車窓フォトコンテスト等の実施」、「出前教室の実施」、「地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進の検討・実施」は達成見込。
△	5	11%	「エリア内地上一般放送活用による鉄道利用促進広報活動の実施」、「2次交通との連携に向けた検討の開始」は一部達成。
×	0	0%	
－	3	6%	「限りある車両でどのようなダイヤがよいか、自治体のご意見をお聞きする意見交換の実施」、「中長期視点に立った設備の見直しやスリム化策の検討・協議」は未評価。
合計	46	100%	



## 4. 象徴的な取組について①

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(1) 鉄道利用者限定のお祭り会場利用クーポンの配布</p>	<p>地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進の検討・実施の取組として、安平町では、鉄道利用者を対象にお祭り会場内で利用できるクーポンを配布しました。</p>  <p>(7月6日撮影・早来駅)</p>	<p>○</p>

## 4. 象徴的な取組について②

取組内容	取組状況等	目標達成
<p>(2) 地域イベント等と連動した鉄道利用策の実施</p>	<p>地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進の検討・実施の取組として、栗山町では、鉄道時刻表を掲載したポスター、チラシでのPRやラッピング車両の増結を実施しました。</p>	○
	<p>地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進の検討・実施の取組として、由仁町では、鉄道利用者を対象に町のPRグッズ等を配布しました。</p>	



(4月13日撮影・栗山駅)





(8月4日撮影・由仁駅)

## 4. 象徴的な取組について③



取組内容	取組状況等	目標達成
(3) 出前教室の実施	<p>マイレール意識の醸成を目的に、室蘭線の全ての沿線自治体において、教育現場にJR社員が赴き、列車の乗り方教室や乗車体験を行いました。</p>  <p>(9月12日撮影・栗山駅)</p>  <p>(11月1日撮影・栗沢駅)</p>	○

# 4. 象徴的な取組について④

取組内容	取組状況	目標達成
<p>(4) SNS・広報誌等による情報発信</p>	<p>JR室蘭線活性化連絡協議会※は、JR北海道・室蘭線に対する関心を高める取組として、Facebookによる情報発信を実施しました。</p>  <p>JR北海道に対する関心を高める取組として、沿線自治体では、広報誌に利用促進記事を掲載しました。</p>  <p>(苫小牧市広報誌6月号)</p>	<p>○</p>

※苫小牧市、安平町、由仁町、栗山町、岩見沢市で構成。

## 4. 象徴的な取組について⑤

取組内容	取組状況	目標達成
(5) 写真コンテスト等の実施	<p>JR室蘭線活性化連絡協議会※は、写真コンテストを実施しました。入賞作品はJR室蘭線のPRに使用され、鉄道利用者の需要喚起や沿線地域の活性化に寄与しました。</p> 	○
(6) 沿線人気イベントを活用した鉄道利用促進	<p>苫小牧市は、沿線イベントにあわせて公共交通利用促進を前面に打ち出したポスターを作成し、室蘭線沿線および札幌圏に掲出しました。あわせて苫小牧市フェイスブックで発信し、幅広い層へJR利用促進のPRを行いました。</p> 	○

※苫小牧市、安平町、由仁町、栗山町、岩見沢市で構成。

## 4. 象徴的な取組について⑥

取組内容		取組状況等	目標達成
(7)	駅の活用	<p>拠点としての駅の活用の取組として、岩見沢市では、北海道日本ハムファイターズ応援大使パネルを岩見沢駅、志文駅、栗沢駅、栗丘駅に設置しました。</p>	○
(8)	駅の環境美化の取組	<p>当社の行き届かない取組に対するご協力として、安平町の早来駅、追分駅において、駅周辺の整備や花壇造成・整備を長年行って頂いております。また、長年の取組に対して、感謝状を贈呈しました。</p>	○



(10月3日撮影・早来駅)

## 5. 令和元年度取組の検証

- ・ JR北海道と地域の皆様が一体となり地域イベント等と連動した鉄道利用促進策の実施や鉄道利用者限定のお祭り会場利用クーポン等の配布を通じた利用促進策に取り組んだ。
- ・ 通勤・通学・通院・買い物等の日常利用の減少が課題であることから、学校教育現場にJR社員が赴き、列車の乗り方教室や乗車体験を通じたマイレール意識の醸成策が、室蘭線に対する関心を高めた。
- ・ 課題である日常利用の増加を図るために、令和2年度もマイレール意識を醸成する取組を継続する。  
また、観光利用の利用促進策についても見直しを図りつつ沿線のご利用を増やす取組を継続していく。







2. 生活利用

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) お客様サービスの向上	①大規模輸送障害発生時の運休等情報内容の充実	JR北海道	○								
(2) 公共交通の利用促進	①鉄道利用促進のための補助制度等検討・実施 ・通学定期への補助	自治体	○								
	②行事等での鉄道利用及び呼びかけ	自治体	○								

3. 観光利用

取組内容	事業主体	目標達成	スケジュール								
			H29		H30		R1		R2		
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	
(1) 道内外から室蘭線にお越し いただくための取組	①沿線や札幌周辺地域にお住いの皆様を対象とした お出かけ勧誘 ア. ヘルシーウォーキングの開催情報の発信・PR	JR北海道 自治体	○								
	②宣伝協力 ア. 駅等での宣伝協力	JR北海道 自治体	○								
	③着地型観光の取組実施 ア. 周遊ツールとしてのレンタサイクルの取組	自治体 その他	○								
(2) 地域の皆様と連携した 取組の推進	①地域のお祭りやイベント等を活用した鉄道利用促進の 検討・実施 ア. 地域イベント・お祭りの活用 ・鉄道利用者限定のお祭り会場利用クーポンの配布 ・地域イベント等と連動した鉄道利用策の実施	自治体 全自治体	○ ○								
	②地域との各種連携、観光資源の積極的な活用 ア. 北の産業革命「炭鉄港」を活用した室蘭線の利用 促進 イ. 沿線の観光地、旅館、飲食店等と連携した取組の 実施 ・道の駅開業を活用した鉄道利用促進	自治体 JR北海道 自治体	○ ○								



**アクションプラン**  
**第1期計画1年目報告書**  
**(令和元年度)**  
**【日高線】**

---

**令和2年8月**

**日高線アクションプラン実行委員会**

# 1. はじめに

---

- **本報告書は、2019年4月9日に公表された8線区における第1期集中改革期間の事業計画（アクションプラン）に基づき、JR北海道が各線区の地域の皆様と各年度ごとに取組の結果について検証を行い、その結果を取りまとめたものである。**
- **検証結果を踏まえた上で、主要施策やKPI指標について必要な見直しを行い、より効果的な対応を検討していく。**

## 2. 基本指標・関連指標の検証

### ○基本指標の概況

- ・線区別収支は、▲331百万円となり、基準とした平成29年度より95百万円改善した。  
営業収益は、47百万円（対前年+8百万円、120%）、営業費用は、378百万円（対前年▲30百万円、93%）となった。
- ・輸送密度は、528人/日となり、基準とした平成29年度より79人/日増加した。
- ・定期券助成によるスクールバスから列車通学への切替等の取り組みにより線区別収支・輸送密度ともに改善した。

#### ▼令和元年度基本指標の収支状況

項目	平成29年度 (基準)	令和2年度 (目標)	令和元年度 (実績)	目標 達成
線区別収支	▲426百万円	▲426百万円	▲331百万円	達成
輸送密度	449人/日	449人/日	528人/日	達成

### 3. 具体的取組の検証


#### ○進捗状況

- ・アクションプラン具体的取組の進捗状況は、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら取り組み、「◎」0%、「○」が54%、「△」が11%、「×」0%、「－」が32%となった。
- ・具体的取組、検証結果等の詳細は別紙に整理している。

#### ▼令和元年度アクションプラン進捗状況(第3四半期)



進捗状況	件数	割合	コメント
◎	0	0%	
○	20	57%	「定期券助成によるスクールバスから列車通学への切替」 「出前教室等の実施」「沿線人気イベントを活用した鉄道利用促進」等は達成見込み
△	4	11%	「地元住民との懇談会等の実施」「宣伝協力」「沿線をPRするラッピング列車運行の検討」等は一部達成見込み
×	0	0%	
－	11	32%	「当社の行き届かない取組に対するご協力」「ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体とのとの協議」「ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議」等は未評価
合計	35	100%	

## 4. 令和元年度象徴的な取組について①



取組内容	取組状況	目標達成
<p>(1)スクールバスから列車通学へのシフト</p>	<p>むかわ町は、令和元年度から北海道鷓川高校に対する苫小牧市内からのスクールバスを取りやめ、JR定期券の助成を開始しました。これにより同校生徒のJR通学者が約70名増加しました。</p> <p>むかわ町とJR北海道が協力して、列車通学が可能になるよう、鷓川高校の始業時間の繰り下げと列車ダイヤの繰り上げの調整を行ったことで実現しました。</p> <p>スクールバスから列車通学にシフトして頂いたことにより、輸送密度、線区別収支の改善に大きく貢献しました。</p>  <p>(7月10日撮影・鷓川駅)</p>	<p>○</p>





## 4. 令和元年度象徴的な取組について②

取組内容	取組状況	目標達成	
(2) 出前教室等の実施	<p>8月2日、苫小牧市内の保育園児(一行約20名)が遠足の一環として苫小牧駅を訪れました。券売機や自動改札機の仕組みを見学。普段入ることのない駅の裏側をご覧いただきました。</p>	 <p>(8月2日撮影・苫小牧駅)</p>	○
	<p>12月20日、鷓川駅コミュニティカフェで、「JR北海道と日高線の現状」と題して出前講座を開催しました。コミュニティカフェ運営者や利用者13名が参加し、線区の維持に向けて取り組んでいること等の意見交換を行いました。</p>	 <p>(12月20日撮影・鷓川駅)</p>	○

## 4. 令和元年度象徴的な取組について③

取組内容	取組状況	目標達成	
<p>(3)沿線や札幌周辺地域にお住まいの皆様を対象にしたおでかけの勧誘</p>	<p>10月20日、苫小牧市「苫小牧漁港ホッキまつり」にあわせて、JRヘルシーウォーキングを開催しました。沿線および札幌圏に公共交通利用促進ポスターによる告知展開を行い、441名が参加しました。</p>	 <p>(10月20日撮影・苫小牧駅)</p>	○
<p>(4)沿線人気イベントを活用した鉄道利用促進</p>	<p>9月22日、むかわ町「むかわグルメフェスタ」にあわせ、定期列車に「花の恵み」車両を投入しました。沿線や札幌圏でポスター・チラシなどでJRの利用促進を図り、当日は118名のお客様が乗車しました。</p>	 <p>(9月22日撮影・鷗川駅)</p>	○

## 4. 令和元年度象徴的な取組について④

取組内容	取組状況	目標達成	
<p>(5)ポスターや広報誌等を活用した情報発信</p>	<p>苫小牧市は、沿線イベントにあわせて公共交通利用促進を前面に打ち出したポスターを作成し、日高線沿線および札幌圏に掲出しました。あわせて苫小牧市フェイスブックで発信し、幅広い層へJR利用促進のPRを行いました。</p>	 <p>(公共交通利用促進ポスターイメージ)</p>	○
	<p>苫小牧市は、広報誌6月号で「乗って守ろう！私たちの足 公共交通」の特集記事と、6月15日に厚真町で開催された「あつま田舎まつり」への公共交通利用に関する記事を掲載しました。</p>	 <p>(「広報とまこまい」6月号)</p>	○

## 4. 令和元年度象徴的な取組について⑤

取組内容	取組状況	目標達成
<p>(6) 鉄道とバスを組み合わせた域内総合時刻表の作成・配布</p>	<p>厚真町は、公共交通機関(路線バス、JR、町営デマンド乗合バス、ハイヤー)や公共交通にかかる補助制度等を網羅した総合ガイドブックを2,000部作成し、町内全戸に配布しました。</p>	<div data-bbox="1317 475 1839 874" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1509 898 1832 927">(厚真町公共交通ガイドブック)</p> <p data-bbox="1906 679 1946 719">○</p>
<p>(7) JR北海道問題に対する関心を高める取組</p>	<p>3月13日、苫小牧市およびむかわ町とJR北海道で、各市町内の事業所(商工会議所、ホテル、金融機関等計20箇所)を回り、日高線の現状のご説明や、利用促進の呼びかけを行いました。</p>	<div data-bbox="1335 959 1839 1394" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1330 1406 1854 1430">(3月13日撮影・苫小牧商工会議所(上)、むかわ町商工会(下))</p> <p data-bbox="1906 1174 1946 1214">○</p>

## 5. 令和元年度取組の検証

- ・ JR北海道と地域の皆様が一体となってアクションプランに取り組んだことにより、基本指標とした線別収支、輸送密度とも、基準とした平成29年度を上回り、目標を超える成果を上げることができた。
- ・ 特に、むかわ町の「定期券助成によるスクールバスから列車通学へのシフト」は、線別収支、輸送密度の改善に大きく貢献した。
- ・ また、苫小牧市の「広報誌やポスターによる利用促進の呼びかけ」、厚真町の「公共交通ガイドブックの作成」といった積極的な取り組みも日高線に対する関心を高め、利用促進につなげる効果に繋がった。
- ・ 地域と当社が連携した取組は令和元年度も実施してきたところではあるが、令和2年度も見直しを図りつつ、沿線のご利用を増やす取組を継続していく。

日高線 具体的取組

I 利用促進  
1 共通

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 利用実態調査	①統計値では把握しがたいお客様の層等を掌握するため実態調査の新設	JR北海道 全自治体	○										
(2) 輸送サービスの向上	①限りある車両でどのようなダイヤがよいか、地域の皆様のご意見をお聞きする意見交換の実施	全自治体 JR北海道	-										
(3) マイレール意識の醸成	①JR北海道問題に対する関心を高める取組												
	ア. JRに関する利用促進特集等沿線自治体相互間の送客に向けた情報掲載	全自治体 その他	○										
	イ. 鉄道とバスを組み合わせた域内総合時刻表の作成・配布	自治体	○										
	ウ. 地元住民との懇談会等の実施 ・自治体主催出前講座への登録・開催	自治体 JR北海道	△										
	②リーフレットの作成 線区の状況、利用のお願い、集中改革期間の内容等について利用者にご理解頂く資料の作成	JR北海道	○										
	③出前教室等の実施 教育現場にJR社員が赴く出前勉強会や駅の課外授業受け入れ等で線区に関するPRを行う	JR北海道 全自治体	○										
(4) 他の交通機関等との連携	①バス、タクシー等との相互連携の推進												
	ア. ダイヤ改正時のダイヤの相互連絡の改善	全自治体 JR北海道 その他	○										
(5) 拠点としての駅の活用	①観光案内所・売店・飲食店等の設置の検討	自治体 JR北海道 その他	○										
	②駅舎の整備												
	ア. 駅舎・待合室の整備 ・自治体による駅舎・待合室の整備	自治体	○										

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
	イ. 駅付帯バリアフリー施設・維持・管理 ・ホーム、改札に繋がるエレベーター付自由通路整備	自治体	○										
	・オストメイトトイレの設置	自治体											
	ウ. トイレ整備・維持・管理 ・洋式トイレの整備・維持・管理	自治体	○										
	③ 駅前の整備 ・駅前広場の整備・維持・管理	自治体	○										
(6) 全道利用促進取組との連携	① 北海道鉄道活性化協議会との連携の検討	全自治体 JR北海道	○										

## 2 生活利用

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) お客様サービスの向上	① サービスレベルの向上 ・大規模輸送障害発生時等の運休等の情報内容の充実	JR北海道	○										
(2) 公共交通の利用促進	① 鉄道利用促進のための補助制度等検討・実施	自治体	○										
	② 行事等での鉄道利用 ・日中時間帯の鉄道利用を図るため行事等での鉄道利用を依頼	全自治体	○										

3 観光利用

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 道内外から日高線にお越しただくための取組	①沿線や札幌周辺地域にお住まいの皆様を対象にしたお出かけの勧誘	全自治体 JR北海道	○										
	②宣伝協力 ア. 札幌駅や新千歳空港駅等での宣伝協力(ポスター等の掲出・プロモーション等の実施)	JR北海道 全自治体	△										
(2) 地域の皆様と連携した取組の推進	①沿線人気イベントを活用した鉄道利用促進	全自治体 JR北海道	○										
	②沿線をPRするラッピング列車運行の検討	自治体 JR北海道	△										
	③JR利用者への地元施設特典を付与し、JR利用促進と地元施設の活性化を図る	自治体 その他 JR北海道	-										

4 広域交通

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 出張等での鉄道利用	①官公庁・域内事業所等において、札幌までの出張時等に、苫小牧～鶴川間の鉄道利用に取り組む	全自治体 JR北海道	○										
	②学校行事等における鉄道利用促進の提案・呼びかけ	全自治体 JR北海道	○										

I 経費節減

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) 業務の一部をお願いすることによる経費圧縮のご相談	①業務のお手伝いをお願い ・駅清掃・巡回・ホーム除雪	自治体	○										
	②当社の行き届かない取組に対するご協力	自治体	-										
(2) コストダウンの取組に対するご理解	①極端にご利用の少ない駅の廃止についての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	-										
	②ご利用の少ない踏切の見直しについての各自治体との協議	全自治体 JR北海道	-										



II. 第2期集中改革期間に向けた取組内容の検討

区分	取組内容	事業主体	目標達成 (第3四半期)	スケジュール									
				H29		H30		R1		R2			
				上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期		
(1) あるべき交通体系について徹底的な検討	①あるべき交通体系について地域の皆様と検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	-										
	②2次交通との連携に向けた検討 ・鉄道とバスの連携による相互に成り立つ仕組み作りに向けた検討の開始	全自治体 JR北海道 その他	-										
	③「地域公共交通網形成計画」の策定 ・日高線と他の交通機関で連携した地域最適な公共交通ネットワーク再構築への検討	自治体	△										
(2) 中長期的な利用促進策についての検討	①中長期的な視点に立った利用促進施策の検討	全自治体 JR北海道 その他	-										
(3) 中長期的な経費削減策についての検討	①中長期的な視点に立った設備スリム化の可能性について検討可能性の検討	全自治体 JR北海道	-										
(4) 中長期的な駅前の整備についての検討	①中長期的な視点に立った駅前の整備 ・駅前広場の再整備駅前広場に必要機能・配置やバリアフリー化の検討	自治体	-										
(5) その他地域の皆様と一体となった取り組み	①相互連携の検討	全自治体 JR北海道	-										